

△▲△ 花の鳥海山 △▲△

(報告) MT

◎山行日：2019年7月14日(日)

◎メンバー：TF(L), JF(SL), MS, MT

東北地方日本海側の百名山2座を狙い、前日、東京から埼玉、群馬、新潟、山形を経て秋田は鉾立山荘へ、1日かけて車で大移動した。途中、新潟から山形にかけての海沿いの道では、6月に発生した山形沖地震の影響で屋根にブルーシートをかぶせた家々が続く。怖かっただろう、早く全ての修理が終わりますように、と思わずにはいられなかった。

雨続きの東京と違い、雲が多いながらも空は明るい。日没時には日本海を一望できる山荘前のベンチで、山行の成功を祈って乾杯した。

登山当日3時起床、4時過ぎに山荘の外に出た。天気予報は今一つだが、雲の切れ間から青空も見える。降らないことを願いながら4時半スタート。

道は傾斜が緩く、太陽がカンカンと照るわけでもなく快適。5時過ぎに県境を越え、山形県へ。この時期、山は雪が融けたところから順に夏に突入し、少しずつ時期をずらした色とりどりの花たちに出会うことができた。



マイヅルソウ

最初に目に付いたのは真っ白なマイヅルソウ。なんだかお花が大きいぞ。続いてショウジョウバカマ、ミヤマツボスミレ、コイワカガミにミツバオウレン、etc. Sさんが花の名前を教えてください。

やがて最初の雪渓に差し掛かる。涼しい！それを過ぎて間もなくの賽ノ河原で、白い花びらのチングルマが待っていてくれた。この辺りは雪融けから間がないのだろう。歩いていくと、ニッコウキスゲやコバイケイソウ、ヨツバシオガマ、ウマノアシガタも次々に姿を見せる。ピンク色の花は特に、色がくっきりと濃い感じだ。



チングルマ



コイワカガミ

やがて鳥海湖を見下ろす御浜小屋前に到着。山頂を指さしてコースを確認しながら休憩を取る。

この先の道がお花畑のハイライトだった。前述の花に加えてハクサンイチゲ、ハクサンフウロ、シャクナゲ、ミヤマウスユキソウ、モミジカラマツ、チョウカイアザミ、イワベンケイなど。夏の鳥海山特有のシャチ模様の山肌に囲まれた色とりどりの花の斜面を、素早く通り過ぎるなんてとても無理。目にも心にも焼き付け、もちろんカメラにも焼き付ける。ちょっと時間をかけてしまったけれど、ウキウキ、ジーンと楽しい時間だった。



8 時頃、千蛇谷コースと外輪山コースの分岐に差し掛かる。外輪山は下山に使うことにして千蛇谷に行く。せっかく登ってきたのに谷までかなり下る。道は整備してあるが急傾斜で細く、すれ違いもままならない。ストレスのかかる 10 分間。



千蛇谷は長い雪渓だった。涼しくて気持ちがいい。落石に注意しながら雪渓と土の道を交互に歩く。この辺りから天気が怪しくなってきた。重い雲が頭上に垂れ込める。次の急斜面の途中からすっかり霧の中。ぽつぽつと雨が降り出す。途中で雨具を着込んで、最後の雪渓トラバース。右は急な斜面。滑るとかなりまずい。慎重に歩く。

間もなく鳥居のある御室小屋前に到着。辺りは真っ白。ここで山の名前を冠したチョウカイフスマと対面できた。鳥居の横の岩陰にひっそりと咲いてい

チョウカイフスマ

た。

山頂まであと一息だ。荷物をデポして岩場に取りつく。大きな岩の連続で、隙間も深く広いが、雨に濡れていてもフリクションがよく効いて助かる。滑りやすい蛇紋岩なんかじゃなくてホントよかった。よじ登り続けること 30 分、ついに山頂（新山）到着、標高 2236m。狭い山頂に続々と人がやってくる。眺望ゼロ。風強し。写真を数枚とって早々に退散した。

岩の下り道はさらに慎重に。後ろを歩いていた MS さんと TF さんがなかなか来ないので待っていたら、ご機嫌な顔で飛び跳ねるように下りてきた。「オコジョがいたのよ〜！」足元をちよろちよろしてなかなか去らず、とてもかわいかったそうだ。見たかったなあ。



千蛇谷の雪渓

荷物をデポした所まで戻ってさっと昼食。見通しが悪いので、来た道を下ることにした。

千蛇谷の長い雪渓では、念のため軽アイゼンを装着。この辺りまで来ると少しずつ天気が回復してきた。外輪山コースがはるか左上方に見える。けっこう見晴らしがよさそうだ。次の機会があれば、是非歩いてみたい。

雪渓が終わると、再びあの狭い急坂だ。それが嫌で、この雪渓をもっと下ればいんじゃないか、とか、あっちの右の斜面

を登れば行けるんじゃないか、とか意見が出たが、雪渓は残念ながらここで終わり、右の斜面には通行禁止の標示がある。一同、言葉少なに狭い急坂を登る。

分岐までくると外輪山コースを来たグループがいて、「どうでしたか？」と漠然とした質問をしてみた。ちょっと考えて「普通」といったような返事が来た。質問の仕方が悪かったナ。

この辺りから疲れも出てきて、淡々と歩く。こんな道、通ったっけ？と記憶も怪しくなる。ついに秋田県との県境を越えた。もう少しでゴールだ。

15 時ジャストに登山口到着。約 10 時間半の長丁場だった。MS さんにシュワシュワの三ツ矢サイダーをごちそうになり、駐車場で靴と靴下を脱いだ。解放感！最高です。

さあ、明日の月山に向けて、また移動だ。と、てきぱき動いていたのは、私以外のお三方。休む暇なく次々に段取っていく。私は後部座席でほけーっとしていた。お役に立たずすみません。人に甘えっぱなしのわたくしでありました。

◎コースタイム

鉾立登山口 04:25 → 賽ノ河原 05:45 → 御浜小屋 06:20 → 御田ヶ原分岐 07:10 → 七五三掛 07:40 → 御室小屋 09:30 → 新山山頂 10:00 → 御室小屋 10:30 (昼食 30 分) 11:00 下山開始 → 七五三掛 12:30 → 御浜小屋 13:35 → 賽ノ河原 14:05 → 鉾立登山口 15:00